

授業 科目	CT1J56	1単位	選択	演習	1学年後期	担当 教員	池田 正雄 松浦 信二			
	保育実習指導Ⅰ（保育所）						三沢 徳枝 佐藤 高博			
授業の概要	① 保育実習Ⅰ（保育所）に関する事前および事後指導を行う。 ② 事前指導においては、保育実習Ⅰ（保育所）を行うために必要な基礎知識を習得する。 ③ 事後指導においては、学習の振り返りと自己評価をもとに、保育士としての専門性向上のための課題について明確化を図る。									
	到達目標	学習成果Ⅰ			学習成果Ⅱ			学習成果Ⅲ		
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1. 保育実習Ⅰ（保育所）の意義・目的を理解し、実習における自らの課題を明確にする。	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○
2. 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○
3. 実習の計画、観察、記録の方法や内容について具体的に理解する。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
4. 事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
凡例 ◎：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はivページ参照										
	主 題	準備学習	本時の学習内容と到達目標				復 習			
1	オリエンテーション 保育実習の意義	『マナーと言葉』p.2～5を読んでおく。	保育専門用語の確認① 保育実習指導Ⅰの授業の流れを理解する。 2年間の保育実習の流れを理解する。 保育実習の意義と目的を理解する。				実習日誌プラムドリル① 学んだことをまとめておく。			
2	保育所の概要 保育所の日 実習の心構えとマナー	『マナーと言葉』p.10～17、 p.32・33、p.48・49、p.56・57、 p.60～67、『パーフェクトガイド』 p.12～21を読んでおく。	保育専門用語の確認② 保育所の概要、一日のデイリープログラムを理解する。 保育所・幼稚園・認定こども園の違いを理解する。 実習中の態度とマナーを理解する。 プライバシーの保護と守秘義務について理解する。				実習日誌プラムドリル② 学んだことをまとめておく。			
3	3歳未満児の保育	『パーフェクトガイド』p.34 ～39を読んでおく。	保育専門用語の確認③ 3歳未満児の発達の特徴を理解する。 3歳未満児の保育の意図や方法を理解する。				実習日誌プラムドリル③ 学んだことをまとめておく。			
4	3歳以上の保育	『パーフェクトガイド』 p.35、40～45を読んでおく。	保育専門用語の確認④ 3歳以上児の発達の特徴を理解する。 3歳以上児の保育の意図や方法を理解する。				実習日誌プラムドリル④ 学んだことをまとめておく。			
5	保育実技	『パーフェクトガイド』p.48 ～67を読んでおく。	保育専門用語の確認⑤ 実習で活用できる保育実技について学ぶ。 保育実技に活用できる用具・手段等を調べる。				実習日誌プラムドリル⑤ 学んだことをまとめておく。			
6	実習の目標の作成 個人票の作成	実習の目標を考えておく。 個人票の下書きを完成させて おく。	保育専門用語の確認⑥ 保育実習Ⅰ（保育所）の実習の目標を明確にする。 個人票・出勤簿・評価票を作成する。				実習日誌プラムドリル⑥ 学んだことをまとめておく。			
7	日誌の書き方(1)	『実習日誌・実習指導案』p.12 ～17、『言葉とマナー』p.84 ～91を読んでおく。	保育専門用語の確認⑦ 日誌の書き方と考え方を理解する（実習日誌の意味と基本項目）。				実習日誌プラムドリル⑦ 学んだことをまとめておく。			

8	日誌の書き方(2)	『実習日誌・実習指導案』p. 24 ～47、『言葉とマナー』 p. 84 ～91 を読んでおく。	保育専門用語の確認⑧ 日誌の書き方と考え方を理解する (事実の記録)。	実習日誌プラムドリル⑧ 学んだことをまとめておく。
9	日誌の書き方(3)	『実習日誌・実習指導案』p. 21 ～23、『言葉とマナー』 p. 84 ～91 を読んでおく。	保育専門用語の確認⑨ 日誌の書き方と考え方を理解する (用語、文章表現)。	実習日誌プラムドリル⑨ 学んだことをまとめておく。
10	日誌の書き方(4)	『実習日誌・実習指導案』p. 48 ～57、『言葉とマナー』 p. 84 ～91 を読んでおく。	保育専門用語の確認⑩ 日誌の書き方と考え方を理解する (考察)。	実習日誌プラムドリル⑩ 学んだことをまとめておく。
11	オリエンテーション (全クラス合同)	必要な書類、身だしなみを整 え、当日の予定と心構えを確 認しておく。	学内オリエンテーション 事前訪問の目的を明確にし、確認事項をまとめる。 実習の流れを確認し、必要なマナーと守るべきルール、 提出物の確認をする。	当日の午後は実習先でのオリエン テーションとなる。 実習先でのオリエンテーションを 実習1日目と考え、必要なマナー およびルールを確認する。
12	10日間の実習課題	事前訪問で確認したことをま とめておく。	実習の目標と事前訪問で確認した実習の予定を踏まえ、 10日間の実習課題を作成する。	学んだことをまとめておく。
13	保育実技と指導案	『実習日誌・実習指導案』p. 21 ～23 を読んでおく。	部分実習・責任実習について理解する。 指導案の書き方と考え方を理解する～指導案を立案す る意義と書く内容、指導案立案の手順、留意事項	学んだことをまとめておく。
14	保育学生としてのマナー 実習におけるトラブルシ ューティング	『パーフェクトガイド』p. 120 ～123、『マナーと言葉』 p. 10 ～17、p. 20・21、p. 32・33、p. 44 ・45、p. 55、『実習の手引き』 p. 30～32 を読んでおく。	実習に向けて保育学生として必要なマナーを確認する。 トラブル例から、実習に必要な心構えを考察する。 実習後の確認事項を理解する。	今まで学んだことを整理して実習 に臨む。
15	実習の振り返り 実習事後アンケート	保育実習 I (保育所) の振り 返しを行って行く。 責任実習の指導案を作成して おく。	実習を振り返り、実習報告書(事後アンケート)を作成 する。	お礼状を書き、実習の手引きの該 当箇所を記入しておく。
成績 評価	授業への取り組み(30%) 課題・書類等の提出(40%) 手引き・事後学習への取り組み(30%) 合計100%			
教員 から の コ メ ン ト	① 保育所での実習に向けて、実習生として必要なマナーや言葉遣い、日誌の書き方についてしっかりと身につけて欲しいと思います。普段から意識して取り組んでください。 ② 授業では、『実習日誌・実習指導案パーフェクトガイド』と『わかる・話せる・使える 保育のマナーと言葉』の2冊の教科書の他に、『幼稚園、保育園、認定こども園パーフェクトガイド』、保育所保育指針、実習の手引き、配布資料を使用します。 ③ 課題提出があります。期限を守って提出してください。			
教科書	書名 実習日誌・実習指導案パーフェクトガイド 著者 小櫃 智子編 発行所 わかば社	推薦図書	書名 幼稚園、保育園、認定こども園パーフェクトガイド 著者 小櫃 智子編 発行所 わかば社	書名 平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認 定こども園教育・保育要領 発行所 チャイルド本社
	書名 わかる・話せる・使える 保育のマナーと言葉 著者 長島 和代 発行所 株式会社 わかば社			